小さな改善が人を、職場を、組織を変える VOI.1

平成28年度がスタートして1か月が経ちました。新人職員の皆さんは慣れてきましたか?新人職員や異動のあった方は、新しい職場の仕事を早くれるのに日々奮闘されているかと思います。そんな中、新しい職場の事が徐々に、いろいろ見え始めているのでは?新しい職場で学ぶことは多いでしょうが、チョット気になる事も見つかり始めているのでは?「仕事の進め方」「カウンターの上」「ミーティングのやりまる事での環境」「机の上の整理具合」「カウンターの上」「ミーティングのやります。平成28年度から「流山市行財政改革・改善プラン」が始ままりました。プランは、これまでの行財政改革のほか新たに職員による職場環境の自発的な改善(カイゼン)活動を広め、元気で活発な行政組織を持続している自発的な改善(カイゼン)は、多くの企業であるミッションを掲げています。この改善(カイゼン)は、多くの企業され





「カイゼン」っていっても・・・ 何 からどう取り組 めばいいの?

いきなり大きな取組みをしようと思わなくていい。
小さな事に"気付き"職員同士まずは共有を。

そして「行動」に。

職員が日ごろ、業務を進めている中で感じる「無駄」や「直した方がいいと思う慣例」「同じミスを繰り返す事」「職場内の汚れ」など。職場の中で小さなムダやおやっ?と思う事、出来ることから改善(カイゼン)してみてはいかがでしょうか?「行政改革・改善プラン」の 16 ページから 20 ページには、事業の改革・改善、業務改善、職場改善などの着眼点や事例などを載せています。なお、同プランは電子書庫の便利ボックスや市HPにあります。ぜひご覧ください!

¹トヨタ自動車のトヨタ生産方式では、7つのムダを定義している。①つくりすぎのムダ② 手待ちのムダ③運搬のムダ④加工そのもののムダ⑤在庫のムダ⑥動作のムダ⑦不良をつく るムダ。これを参考に「行財政改革・改善プラン」では行政事務に置き換えた。

~カイゼン事例を紹介します。ぜひ参考に!~

|1) 職場ミーティングの事例|

窓口も電話も頻繁で、なかなか時間を取って課内でミーティングをしてこなかったある職場。でも情報共有は大切な事なので課内ミーティングを2週間に1回始めた。3つの係がありお互いの業務状況など揃って話したことがなかったから、全員が共有できるようになった。繁忙期を迎えた係の状況を知るようになったからか、係を超えた業務応援も連携できるようになった。また、異動者は課内全体の業務の進捗や課題が明確になり、事務のポイントもお互いに理解が深まった。できれば週1回のミーティングにしていきたい。

2)会議時間短縮の事例

会議次第に「議題」が書いてあって、そこからスタートする会議。気が付いてみると論点から外れたり、その会議でどこまでの結果を出すのか不明確で時間ばかりかかってしまうこと。そこで、議題の論点メモをあらかじめ作成配布し、議論すべき事、求める結果、会議終了時間を先に説明するなど改良した。そうしたところ、会議を短縮するため、当日の進行役の明確化、会議の目的、ゴールの明確化、分かりやすく簡潔な資料作成、事前配布などの工夫が浸透した。

会議時間の表示

改善前 日時:○月●日(水)14時~

改善後 日時:▲月△日(金)14時~15時30分

3)職場内の断捨離!



☆☆こんなテーマでカイゼンはいかがですか?☆☆

4月、5月、6月は人の入れ替わりもあり、バタバタする時期ですが、新しい"視点"も入ってきます。そこでこんなテーマでカイゼンに取り組むのはどうですか。参考にしてみてください。

- ①新任者の視点をもってカイゼン!(その際、素直に聴く)
- ②求める書類。すぐに見つかっていますか?
- ③カウンターから見た職場。市民からどう見えますか?
- ④パンフレットラックの分類整理は?パンフがお辞儀してませんか?